ROTARY SANJO SOUTH

国際ロータリー会長：グレンＥ．エステス（米国）
第２５６０地区ガバナー：横　山　芳　郎（新潟）
第四分区アシスタントガバナー：細　井　増　雄（三条）

2005年 2月8日　第1,733回
本年度　第２６回例会

会長　石　山　荘　一　　幹事　佐々木　常　行　　ＳＡＡ　丸　山　征　夫

三条南ロータリークラブ事務局　三条市旭町２－５－１０（三条信用金庫本店内）
TEL：35-3477　FAX：32-7095　e-mail：info@sanjo-minami.jp

CELEBRATE ROTARY 100 Years

ロータリーを祝おう

100年の歩み

2004-2005

【出席率】　会員６６名中４４名

【ゲスト】

三条市長	高橋　一夫様
三条市教育委員会教育長	松永　悦男様
三条市立四日町小学校長	渡部　則夫様
三条市立月岡小学校長	月岡　茂久様
三条市立条南小学校長	渡邊　利男様
三条市立南小学校長・南幼稚園長	伊藤みさ子様
三条市立第一中学校長	山田　俊彦様
三条市立本成寺中学校長	根津　直久様

３クラブ合同

ロータリー１００周年を祝う会

【会長挨拶】　渡邉　喜彦会長（三条ＲＣ）

みなさん今晩は。本日はロータリークラブが発足して100年を迎える記念すべき式典に、公務ご多用の中、三条市長　高橋一夫様、三条教育委員会教育長　松永悦男様、三条市立四日町小学校長渡部則夫様、三条市立月岡小学校長　月岡茂久様、三条市立条南小学校長　渡辺利男様、三条市立南小学校長ならびに三条市立南幼稚園長の伊藤みさ子様、三条市立第一中学校長　山田俊彦様、そして同じく三条市立本成寺中学校長　根津直久様、おいでくださいまして誠にありがとうございま

した。また、会員各位におかれましても一日の仕事が終わりお疲れのところ多数ご参集いただき誠にありがとうございました。
私は、三条ロータリークラブ本年度会長の渡辺でございます。後ほど、細井アシスタントガバナーよりご挨拶がございますが、せっかくの機会ですので、簡単に皆様方の代表として一言ご挨拶申し上げます。
さて、我々ロータリークラブは 1905 年(明治 38 年)、2 月 23 日アメリカ・イリノイ州シカゴにおいて、青年弁護士ポール・ハリスが友人３名と共に発足させたのが始まりです。以来 100 年という永い年月を経て今日を迎えることができました。本日はそれから丁度 100 年を迎える本年 2 月 23 日に先立ち、我が 2560 地区第四分区の三条にございます 3 つのクラブが合同でそのお祝いの行事を行うこととなりました。
発足以来我がロータリークラブは、それぞれ会員自身の人間的資質の向上に努力し、企業経営の健全化そして何よりも社会の一員としての奉仕の理想に燃え、日夜努力を重ねてまいりました。世界中の多くの功績を振り返るたびに、ロータリークラブの偉大さと諸先輩方の努力と実績に深く敬意を表するとともに改めて自分自身の研鑽努力の必要性を深く認識する次第です。
このたびの思いがけない災害の多くに、我々ロータリークラブとして何を成すべきかと問いかけた時、すかさず会員の皆様は躊躇無く、自分の持っている私財をなげうって多くの方々の為に奉仕協力していただきました。
本日、100 周年を迎えるにあたり改めてロータリークラブの原点に立ち返り我々の日頃提唱しております、職業奉仕を通じて大いに社会奉仕をしてまいりたいと思います。我々も企業も、そしていろいろな団体も年月を経て成長、発展してまいります。その成長には欠かせない節目の年がございます。その節目の意義は、「改めて原点にもどり創業・創始のこころを思い、今後の新たなるスタートに立ち返る」大切な行事であると心得ます。
本会の記念すべき式典とお祝いは、そういう意味で改めて 100 年前の原点を作ってくださった方々の思いに立ち返り、次なる 100 年つまり 200 年に向けての心新たなスタートの時でもあります。皆様方と本日は、そうした心で本日の式典を祝い共に喜び合いたいと思います。本日は、どうぞよろしくお願い申し上げ３クラブ会長を代表致しましての挨拶とさせていただきます。

アメリカ・シカゴにロータリークラブ
合同で百周年祝う記念例会
総額1千万円の備品、設備
7・13水害被災の7施設(小中学校、幼稚園)に
7件中3件は災害復旧
小滝上流は新栄建設

記念スピーチ

「１００周年にあたって」

細井増雄第４分区アシスタントガバナー

今年度、第四分区のアシスタントガバナーをやらせていただいております、三条ロータリークラブの細井増雄です。ロータリークラブ百周年の歴史と RI 会長グレン E. エステス氏のテーマ、地区の百周年に対する考え方、また、私の私見もふまえてスピーチをさせていただきます。

百周年ということで、先ほど三条ロータリークラブの渡邉会長から、1905 年にシカゴでロータリークラブが発足したとお話がありました。これは、すべてのロータリアンが知っておられるはずでございます。それからの 100 年が今年に当たるわけですが、日本のロータリーの歴史を少し申し上げますと、1905 年にシカゴで発足してから、15 年遅れの 1920 年（大正 9 年）に東京ロータリークラブが発足しました。それ以来、大阪、名古屋、神戸と続き、今、ロータリークラブは、会員が 110 万人、クラブ数はおよそ 2,000 近くになりました。

新潟県のロータリークラブの歴史は、昭和 15 年 5 月に新潟ロータリークラブが発足、これは、全国で 55 番目にあたります。実は、その新潟ロータリークラブが日本のロータリークラブの戦前の最後のクラブです。戦後初めて出来たクラブは昭和 24 年に尾張一宮のロータリークラブです。したがって、昭和 15 年から昭和 24 年の 9 年間は第二次世界大戦のためロータリー活動は一時ストップしていました。我が三条ロータリークラブは、新潟県で 7 番目、日本国内で 204 番目に出来たクラブです。三条南ロータリークラブさんは、三条ロータリークラブが十周年のときにスポンサーになって出来たわけですけれども、日本国内で 870 番目、北ロータリークラブさんは 1470 番目に出来たクラブです。現在、新潟県だけで、2560 地区、56 クラブあります。これは、すべてロータリーの友に書いてありますので是非ご覧下さい。

RI 会長グレン E. エステス氏の今年のテーマは、「ロータリーを祝おう」ですが、この会長の言葉を借りますと、「100 年に及ぶロータリーの親睦と奉仕には、祝うに足る十分な理由があります。百周年にあたる、私たちの年度に、私は、全ロータリアンに向かって、ご一緒にロータリーを祝おう、とお願いしたいのです。私は、ロータリアンの皆様に、過去の成功の自己満足ではなく、現在の困難への新たな危機感を持って、**ロータリーを祝おう**と呼びかけています。何十年にも渡る奉仕によって、私たちは、自然災害と新たなる恐ろしい病や残忍な紛争に取り巻かれた世界において、人類が必要とすることの重大さを知らされました。ロータリーを祝う最善な方法の一つは、私たちの 100 年の経験の重みを十分に生かして、それらの莫大な人道的需要に取り組むことでしょう。まず第一に、超我の奉仕を据えることで、**ロータリーを祝おう**ではありませんか。」これが会長の言葉ですが、百周年ということで、どこかの会社が、あるいは、どこかの団体の百周年と同じことではなく、『超我の奉仕』を超えた奉仕で、百周年を祝ってほしいと言うことです。

地区としては、百周年のロータリー活動の PR を、2 月 23 日の新潟日報の一面を借りて行います。但し、それ以外の活動は各クラブの自主性にお任せするので、何か一つ行事をやり百周年を祝おうというのが、第 2560 地区のガバナーの方針です。したがって、個々の分区、あるいは、個々のクラブでそれぞれ百周年の行事が行われているようです。

私どもは、百周年記念ＩＭを企画しておりましたが、昨年の水害・地震などがあり、第４分区会長・幹事会におきまして、第４分区すべて集まって盛大にやる事もどうか、と言うことで、地区の

了解を得て見合わせることにしました。しかし、記念の行事は各クラブで何かやって欲しいということですので、本日、三条３クラブが合同で一つの記念例会を行うに至ったわけです。記念祝賀会としなかったのは、RI 会長の方針に沿って、皆で祝う意味が奉仕を考えた祝い方でやりたいと言うことですので、記念合同例会とさせていただいたことをご理解いただきたいと思います。今後とも、RI 会長の意向に沿った「超我の奉仕」をもとに、これからもロータリー活動を続けていただきたいと思います。皆様方も、ロータリアンであればご存知のことと思いますが、何卒ご協力をよろしくお願いいたします。

実は、最初はあまり盛大な祝典はなるべく控えて自分たちのロータリー活動の PR 程度にして欲しいというのが、地区の方針でしたが、水害、地震などで、すべてのことが自粛ムードになっていました。したがって、皆様方が夜お出かけになるところが暇で非常に困っているため、地区の方針を変え、去年の年末は、各クラブでアルコールの入った記念例会をして欲しいということでした。今日は奉仕のための祝う会と同時に、盛大にお祝いするわけではありませんが、ちょっとアルコールを入れていただいて、今後のロータリー活動の糧にしていただきたいと思います。

私は、落語が好きなので、一つ都々逸を申し上げます。「この先を　やめちゃあいやだよ　飲ましておくれ　まさか　しらふじゃ　言いにくい」これは男女の仲を扱った都々逸ですが、ちょっぴりアルコールが入りますと好きなことが言えます。今日は、皆様方に大いに飲んでいただいて、今後のロータリー活動について盛んに議論していただき、また、ごゆっくりとご歓談いただきたいと思います。これで、私の百周年の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

来賓挨拶（謝辞）

三条市長　高橋一夫様

皆様こんばんは。

国際ロータリー創立百周年、大変おめでとうございます。心からお祝い申し上げます。先ほどの会長さんのご挨拶にもありましたように、今から 100 年前に当時のシカゴの荒廃を憂いで、若き弁護士、ポール・ハリスが仲間と語らい、自分たちの会社を回り回って会場とし始めたのがロータリーの始まりであります。一業種一人、また、「私が奉仕する」という崇高な理念の下に国際奉仕・社会奉仕・職業奉仕という各分野で奉仕をされてきました。「私が奉仕する」であるがゆえに、孤立しがちな会員同士をサポートし、また、情報交換をするという意味で、親睦と言う会が非常に大きなウエートを持っているというのがロータリーだということを、つい最近までロータリアンでしたので、その時に勉強させていただきました。先ほどの会長さんのお話とぴったり合っていたので、間違えはなかったなあと安心致しました。

当時のシカゴと今の日本を比べると、物質的に比べると、何倍、何十倍も今の日本が豊になっているんだろうと考えます。しかし、心の荒廃という形からすると、今の日本のほうが当時のシカゴよりもより以上に社会現象から行くと、深刻になっているような気がしてなりません。と言うことは、皆様方のお仕事がより以上に地域に求められている時代なのだろうという風に感じています。私ども行政も住みよい町作りに頑張っているわけですが、皆様方から更なるご協力をいただきたいと思っております。

昨年の 7・13 水害では、今日ご出席の皆様方の中にも、直接的・間接的にいろいろな形で被災された方が多くいらっしゃると思います。心からお見舞い申し上げますとともに、一日も早い回復を願って止みません。その時も、皆様方は勿論のこと、県内外からロータリーの方が大勢お出でいただき、ボランティアとして被災者の方々の泥出しや、いろいろな形でご援助いただきました。また、ローターアクトの諸君からも壊れた公園の復旧という形でお力をいただきました。重ねて御礼を申し上げる次第です。同時にまた、今日は被災した幼稚園、小中学校の子供たちに夢を与えたいとたくさんのご寄付をいただきましたことに御礼を申し上げます。きっと、皆様方の「子供たちに夢を」と言うその願いが、水害にあって心を病んだ子供たちの心を癒し、そしてまた、大きな夢を与えてくれるものと私も確信しています。最後になりますが、皆様方のますますのご繁栄とご発展、各分野における奉仕活動をさらに盛んにしていただくことを御祈念申し上げ、お祝いと、御礼の挨拶とさせていただきます。大変ありがとうございました。

三条市教育委員会教育長　松永悦雄様

三条市教育委員会の松永でございます。

今日は、国際ロータリー創立百周年をお祝いいたしまして、三条市内 3 つのロータリークラブの皆様方の合同の集いが、このように大勢の方々で盛大に行われますこと本当におめでとうございます。また、このような晴れ晴れしいところにお招きいただき大変ありがとうございました。

私は、三条市内に 3 つのロータリークラブがあって、それぞれが独自の素晴らしい活動をなさっていらっしゃると言うことは存じていましたが、本日このように大勢の方々がご自分の事はさておいて、地域の奉仕や、あるいは子供たちの為に尽くされていらっしゃると言うことを目の当たりにいたしまして、深く敬意を表し感動をいたしました。今日は、その奉仕の一環として 7・13 水害で被災した、嵐南地区の小・中学校と幼稚園に本当に多大なご寄付をいただきました。大変ありがとうございました。本日列席しております校長ともども心から感謝申し上げる次第でございます。
子供たちはこの災害で大きな困難や苦しみを味わったことと思いますが、皆様方のこの温かい気持ちを、皆様のご主旨を子供たちに伝える中で、困難を乗り越えて大きく羽ばたいていくことを期待しているところでございます。今日、出席されている校長先生方もそれらを、十分子供たちに伝え、より良い、これまで以上の充実した教育活動を展開していくものと思っております。

脚本家の倉本聡さんは、役者を演出する中で、役者を育てることについて次のように話しています。「役者を育てると言うことは、半年や一年で収穫を上げる農業感覚では出来ない。手間や時間をじっくりかけ、地面にしっかりと根を生やし、大きく、たくましく育てる林業感覚でなければならない」と。私も、学校教育はそうではないかなと思っております。これからの時代を背負っていく子供たちに、人間としての基礎・基本をしっかりと植えさせて、そして、たくましく、大きく健やかに育てていく林業感覚が大事なのではないかと思っております。そういう意味で、義務教育段階に置けますこの小中学区において、あるいは、その基礎となる幼稚園におきまして、子供たちの基礎をしっかりと皆様方の本日頂いたご好意を糧にしながら築いてまいりたいと思います。今後とも、皆様方には地域の牽引者として、あるいはまもなく誕生する新市の発展の為に、そして、未来を築く子供たちの為に更なるご尽力、ご指導、ご支援を賜りたいと思います。最後になりましたが、ロータリークラブさんのますますのご発展と、ご参会の皆様方のご活躍、ご健勝を心から御祈念申し上げまして、言葉が足りませんけれども、今日のお祝いと御礼の挨拶とさせていただきます。本日は、本当にありがとうございました。

ニコニコBOX

～2月　8日￥４３，０００　今年度累計￥８２０，５６０～

相田君、安達君、荒澤君、石山君、大久保君、大原君、岡村君、木原君、齋藤君、佐々木君
佐藤（栄）君、佐藤（譲）君、佐藤（秀）君、佐藤（嘉）君、白倉君、鈴木（圀）君
鈴木（幸）君、鈴木（武）君、滝口君、田代君、田中（久）君、田中（悌）君、谷君、坪井君
銅冶君、西野君、野島君、長谷川君、馬場（茂）君、船久保君、星野君、丸田君、丸山（徹）君
丸山（征）君、武藤君、目黒君、山村君、吉井君、吉田（秀）君、吉田（衛）君、若井君、渡邉君
ロータリー１００周年　おめでとうございます。

嘉瀬君　　１００周年の良き日にニコニコＢＯＸを担当致しました。
大勢のご協力有難うございました。

3クラブ合同　100周年を祝う会

於：Ｖ　Ｉ　Ｐ

式次第

１．開会点鐘		渡邉喜彦会長（三条ＲＣ）
２．国歌・ロータリーソング「奉仕の理想」斉唱		
３．来賓紹介		杉山親睦委員長（三条ＲＣ）
４．会長挨拶		渡邉喜彦会長
５．記念スピーチ「１００周年にあたって」		細井増雄ＡＧ
６．７・１３水害支援プログラム目録贈呈		細井増雄ＡＧ
７．来賓挨拶（謝辞）	三条市長	高橋一夫様
	三条市教育委員会教育長	松永悦男様

＊　＊　＊

１００周年を祝う会

１．乾杯の音頭	中條耕二ガバナーノミニー（三条北ＲＣ）
２．祝宴	
３．中締め	石山荘一会長（三条南ＲＣ）
４．閉会の挨拶	斎藤　正会長（三条北ＲＣ）

四つのテスト

－言行はこれに照らしてから－

Ⅰ　真実か　どうか

Ⅱ　みんなに公平か

Ⅲ　好意と友情を深めるか

Ⅳ　みんなのためになるか　どうか